

空から見た平成5年ごろの水島臨海工業地帯。現在では、左下の部分のうめ立てが進み貨物船が入る港ができている

製鉄や自動車産業が発達

高梁川の河口付近の水島臨海工業地帯には、多くの工場が建ち並んでいます。この場所は、高梁川から水を引きやすく、大きな船が出入りできる場所としてすぐれているのです。ここには、製鉄所をはじめ、ガソリンや灯油を作る製油所、ビール製品を作る石油化学工場、乗用車を組み立てる自動車工場、電気を作る発電所などの工場があります。

工場では、工場内の機械を冷やしたり製品を作ったりするために多くの水を使います。使われた水は工場内でリサイクルされ、再利用されます。

また、総社には、水島の自動車工場へ部品を供給する工場が多くあります。

高
梁
川



上の写真左下の部分のうめ立てが終わり、工業用の土地ができた



水島の自動車工場で作っている乗用車